

# 地域の皆さんと支える医療のために

わが国の人口推移をみると2004年に人口のピークを迎え、以降減少局面となっています。2025年（16年後）には生産年齢の5人に1人が60歳以上と推測されます。更に2055年には生産年齢人口が51.1%といわれ、一人一人が健康で、皆で医療を支えなければならない状況がうかがわれます。

そんな地域で支える医療の推進のため「地域完結型医療」を目指し当院の地域連携センターが2008年4月に産声をあげてから1歳半と成長しました。この間多くの医療機関の皆様へ支えられ又、市民そして患者の皆様へ地域完結型医療をご理解いただいているところです。



副院長  
村田 加代子

患者満足度調査の結果を見ますと平成18年入院患者の病院選択理由の45.4%が他の医療機関からの紹介で19年46.6%、20年48.4%と上昇傾向を示しています。逆に自宅から近いという回答は減少してきています。

## 患者サービスの推進

当院ではご意見箱を院内の16箇所に設置し月平均40件程度のご意見を患者さん・ご家族からいただいています。昨年度は、「待ち時間が長い」「市外からの受診はだめですか」「予約の方が優先で何時間も待たされた」等のご意見が多くありまして、その都度地域完結型医療の説明を対応策に載せご理解をお願い致しました。合わせて地域連携センターの広報活動の推進により現在は地域連携に関する理解をお願いするような投書はほとんどなくなりました。

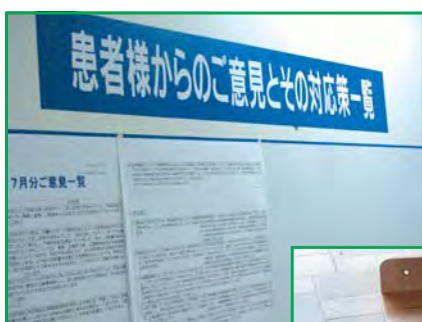
また、毎年患者満足度調査を実施し、その評価を今後の医療提供の参考にさせていただいています。



〈ポスター〉

患者満足度調査は平成17年から実施しております。

今年度は、9月7日から9月11日に行いました。



左：頂いたご意見を公開しています  
右：1F中央ホールのご意見箱

## 顔の見える看看連携

何よりも患者さんが医療に求めているのは安心と信頼であることは言うまでもありませんが、地域連携を推進する上で患者さんのケアが継続されなければ連携とはいわれなと思っています。在院日数の短縮により早期退院による支援は不可欠であり、顔の見える看看連携で患者さんの安心と信頼を是非継続させていきたいと思っています。そのため病院施設間交流を活発化させて患者満足につながっていくことを願っています。

どうぞ今後とも地域の看護職の皆様のご支援をよろしくお願い致します。